

一般質問通告書

受領日時 令和7年5月28日 午前 8時30分 8番 氏名 松浦 真

質問項目	質問の要旨
1 五城目高校魅力化へ舵をきるのか。きらないのか。	(1) 全員協議会で出された案は高校から求められたPCの購入費補助、給食費補助、五城目高校教育振興会補助金の増額であった。これらだけでは五城目高校が魅力的になれず、県内の学生さえ集まらない。改めて、町長自身は五城目高校をいつまでにどうするのか。森林経営コースなどの独自のカリキュラム策定を高校に提言はしたのか。具体的なスケジュール含めて考えを問う。 (2) 県内の中3生自体が減少する中で当町の検討する時間が続いても、生徒募集のV字回復は難しい。今回の補正予算を学校長の要望だけで措置するのではなく、町自身が五城目高校をこのようにしていきたいという見通しと主体性を持って、高校を存続するのかもしれないのか覚悟を決める必要があるのではないかと。町はどのように考えていくのか。
2 森山の現状は	(1) NTT 東日本との交渉結果および森山の登山道についての現状は。
3 五城目第一中学校の内申点について	(1) 名古屋市の一部中学校で絶対評価でつける「内申点」を相対評価に近い手法で出す文書が共有されていた。五城目第一中学校では現状内申点について、どのように評価されているのか。 (2) 絶対評価となっている昨年度の五城目第一中卒業生の評定（1～5）割合分布はどのようになっているのか。特にCCAやCBAは存在するのだろうか。 (3) 「内申書を意識して生徒が発揮するのは、主体性ではなく従順さではないか」学習評価などをテーマに2025年4月末に開かれた文部科学省の有識者会議で、専門家として発表した西岡加名恵・京都大学教授が発言した言葉です。 五城目第一中学校でも少なくとも数年前から中学生が、学校での積極的な手の挙げ方や、生徒会、クラス委員などへのアピールを行うことで評定が上がり、学校の教員もクラス運営をしやすい学校の仕組みに反抗しない子どもを育てる仕組みが出来上がってしまっている。これでは、子どもの意見を尊重し生徒や生徒会の決定を尊重し、校則の変更を行うなどの昨今の流れに逆らう状況である。この現状について学校長や教育長はどれぐら

	い知っているのか。また、今年度からこの内申点を含む教員の意識改革を早急に行うべきであると考えているが町の考えは。 3月定例会でも、「教育委員会としては、子ども議会だけでなく、様々な機会をとらえて、こども基本法の基本理念である「自己に直接関係する全ての事項に関して意見を表明する機会・多様な社会的活動に参画する機会が確保されること」。また、基本的施策である「施策に対するこども等の意見の反映」の実現に向けて取組んで参ります。」と答弁していた。 県内の他校から来た職員に対する上記の研修が改めて重要である。今年度予定されている学校教員向けの研修でもこの内容について踏み込むべきと考えるが町の考えは。 (4) 五城目第一中学校では不登校児童の評定は現状斜線となっている。広島県や神奈川県などは不登校児童向けの入試を独自に広げている。 当町でもできる内申点運用の見直しとして、高校入試で欠席日数が合否に直結しないよう、広島県のように調査書から「欠席の記録」を除外することや、評価にあたって出席状況を過度に重視しない方針を取ることができる。具体的には、町教育委員会の管轄内で調査書様式を定める際に「欠席日数欄を記載しない」決定ができる(中学校の調査書様式は各教育委員会の裁量で簡素化できる)。 欠席そのものではなく、生徒の学習到達度を評価する運用へ改めることで、不登校だった生徒が内申点で極端に不利益を被る事態を防ぐことができるなどの案があるが、町の考えは。
4 こども基本計画(公園・遊具のあり方含む)について	(1) こども基本計画内において、子育てボランティアの活用 今後の方向性 これまで通り継続 となっているが、町内のサークルは新規加入者がいないため活動がほとんどない状態。今後は他市町村で活動している団体を紹介し、共感できる仲間づくりを支援していく とあるが、これは、そもそも事業として成り立っておらず、また継続とはいえないのではないか。「これまで通り継続」だけでは町民から見ても規模感が不明なので、計画のPDCAサイクルのためにも、すべての項目に年度予算額を入れてほしい。もし予算ゼロで実施する場合はその内容も含めて記載してほしい。町の考え

	は。 (2) 公園等遊具・体育器具の安全管理の徹底も これまで通り継続する とあり、今後も継続して計画的に取り組んでいきます。とあるが、具体性がない計画は継続事業と言えるのか。過去にも、一般質問で町民からの遊具設置のリクエストが行われている。町長も副町長も把握しており、約 2,000 万円以上のコストがかかるが、設置に向けて検討をはじめるといふ答弁があったように思う。具体的なスケジュールなどはどのようになっているか。 (3) PDCA サイクルも記載されているが、PLAN 時にパブコメの内容や子どもの意見が反映されている箇所はあるのか。あれば具体的に答弁を。 (4) 計画のための庁内プロジェクト会議を開催するとあるが、今年度何回を予定しているか。また、どのように進めていくのか。
5 大川の水門および堤防について	(1) 大川の堤防工事の着手タイミングはどうなっているか。県と JR との交渉結果や、国への申請なども含めて時系列でまとめたうえで、今後の予定は。 (2) 大川の水門管理について、締結後の動きはどのようになっているか。万が一今年の夏に洪水が発生する場合には、どのように対応するのか。具体的な指示は誰がいつどのように行い、誰が水門の開閉を行うことになるのか。
6 5つの柱の現状は	(1) 「町内会長と町長とのホットライン」はどのようになっているか。 (2) 一つ目の柱、「根底から強い町へ」から「地域ブランディングの推進」、二つ目の柱「町に住む方々が主役の町へ」から「町内会長とのホットライン確立」と「定期的な座談会の実施」、三つ目の柱「圧倒的に子育てを応援する町に」から「湖東の砦『五城目高校』の存続を図る」、四つ目の柱「活性化で儲かる農林業へ」から「五城目産木材製品の利用促進を図る仕組みづくり」について、それぞれ6月の補正予算もしくは現在準備中のものがあれば具体的に答弁を。